

めろろ春らしく 阿そ共々

和声此地滞在中は 氷ららるる大変此世話程に 阿そ共々

去る三月四日 桑港出帆し 航海無事 同日横

埴に無事上陸 阿そ共々故此安心下さい

早之此通知申し上るは 阿そ共々所 良醫と 求め居り

た為 思ひぬ 阿そ共々 阿そ共々 阿そ共々 見下 良好に

向ひつ ありますから 此安心下さい

愚事 からも 阿そ共々 阿そ共々 阿そ共々 阿そ共々

先のは 横埴 安着 此報知 申し 済み

三月十二日 山本熊太郎

高橋 此夫婦様

RECEIVED
MAR 16 1953
REGISTRY

RECEIVED
MAR 16 1953
REGISTRY

拜啓 日本も百々を春めきやが櫻の四月も参り
皆様に知られてもおよそこの事と遠慮致しませ
三月十二日付りの御丁寧なる御手紙武蔵より
御無事に御帰着致されを御喜ぶ申上す
御老体故船中いかによと内心配致して居ります
今度景勝の地として有名な鎌倉の地に御家族の
方々と安住される事と成り大変嬉しく存じます
桑木港御在任の四十斗向年との間程をこの間に
御高上慮に成り改めて御禮申上す
漸く待望の春も参り其の上御家族一同様
と一語にお成りになられ又御家族一同様の
懇切なる御看護により早々に御健康御回復
される事をうながります 然しこの変化
のためこゝは大きく御幸御体にお注意の上おこし
下さいます 身様にもくれぐれ御注意
御傳へる程御頭申上す 此方下は昔三方
がたのおらゆさを大得下よく致して居ります
又御おらゆさを大得下よく致して居ります
相成る事と存じます 其の節は又宜致しく
御願致しませ

三月十六日

一月様へ宜致し御傳下さいます 謹言

山本熊太郎様

高橋 生